第1学年1組 生活科学習指導案

平成17年1月25日（火）第5校時
活動場所 ランチルーム
出席数 男子18名 女子15名計33名
指導者 T1 山本 良子
T2 水崎 かつ江

1 単元名 みんなであそぼう
2 単元について
（1）児童の実態

本校は、さいたま市の東部に位置し、さいたまスタジアムのすぐ近くにある。全校児童数207名、学級数7という小規模校である。この児童たちが住む野田の地域は、春には桜並木の桜の花が絵本から抜け出たように咲き乱れ、夏には、児童たちがカブトムシやクワガタムシを捕まえられる林が近くにあり、秋には、赤い彼岸花が「がんぎつね」のようにヘルシーロードの土手に列を作って咲き誇る様の美しい自然があり、さらに、地域全体で児童たちを見守る風かさがある。

生活科では、入学してから「はるとなかよし」や「なつとなかよし」「あきとあそぼう」などの学習で「さぎやま公園」や「ヘルシーロード」で草花で遊んだり、生き物と触れ合ったりしてきた。そして、季節によって目に映る花の変化や生き物にも違いや変化があることに気付いてきた。

本単元は学習指導要領の内容（3）「自分たちの生活は地域の人々や様々な場所でかかわっていることが分かり、それに親しみをもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」（5）「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わるごとに気付き、自分たちの生活を工夫したり楽ししたりできるようにする。」（6）「身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」に基づいて設定したものである。

本学級の児童は、33名中26名が同じ幼稚園からの入学である。幼稚園や保育園が違うとしても一緒に遊んだことがある児童が多い。また、核家族化が進んでいる中、祖父母などと一緒に住んでいる児童も多く、他地域に比べてより昔の遊びを伝えてもらえる環境にある。しかし、放課後や休日の児童の遊びのアンケートからは、室内での遊びが多く、体をあまり動かさなくてもすむ遊びや、季節に関係なく1年中遊べる遊び、一人でも遊べる遊びが上位を占めている。

<table>
<thead>
<tr>
<th>良く遊ぶ遊び（週3回以上）</th>
<th>たまによく遊び・あまりよくない遊び</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1位 漫画を読む</td>
<td>20人</td>
</tr>
<tr>
<td>2位 お絵かき</td>
<td>19人</td>
</tr>
<tr>
<td>3位 s pゲーム</td>
<td>17人</td>
</tr>
<tr>
<td>4位 テレビゲーム</td>
<td>16人</td>
</tr>
<tr>
<td>5位 ビデオを見る</td>
<td>14人</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（複数回答）
そこで、本単元では、季節感あふれる伝承遊びを地域の人から教わり、昔から伝えられている遊びの楽しさを児童に十分に味わわせると共に、冬の暮らしの中においても戸外で遊べるいろいろな遊びがあることも気付く事ができるようにしたい。さらに、季節の変化を感じ取り、教わった遊びを自分なりに工夫し児童が発展させながら自分の生活を季節に合わせてより楽しく豊かなものできるようにしたい。また、身近な地域の人と協力してもらう活動を通じて地域のよさに気付くと共に、人々との接し方やかかわり方を大切にする態度を育てたい。

それのために、このような伝承遊びを、地域の人々に教えてもらう、作ったり遊んだりして体験し、そのよさに気付くとともに、年末年始に家庭や地域で少しでも多くの児童が遊んでくれることを願ってこの単元を設定した。

指導に当たっては、地域の方々に伝承遊びの遊びのこころを教えてもらう活動を通じて昔の遊びの楽しさやよさに気付き、自分たちの生活の遊びの中に取り入れていけるようにしたい。さらに、伝承遊びのよさにふれ、「もっと上手になりたい。」「自分で作ってみたい。」という思いや願いをもたせたいと考えている。そして、日本の豊かな四季の中できという季節を体全体で感じその季節を生かして遊ぶことによって、自然のおもしろさや不思議さ伝承遊びなどに興味・関心をもち、昔からの遊びで遊んだり、自然を生かして遊んだりしながら、自分のよさや地域のよさにも気付き、やがては伝承遊びを受け継ぎ守り育てる一員となって欲しいと願っている。

3 単元の目標
○昔からの遊びが地域には沢山あることに気付くとともに、地域の人々にかかわりながら、友だちと工夫して遊んだり作りしたりして楽しく遊ぶ。
○地域の人々に、昔からの遊びを教えてもらうよさや、遊びの楽しさ、季節の変化に気付く。

4 研究主題とのかかわり
○指導方法の工夫
・体験の重視
近くにある「ヘルシーロード」や「さざやま公園」に出かけ、児童一人一人が自然と直接触れ合い、四季の変化や地域の自然の豊かさを味わうことができるようにする。さらに、リツマイモの苗付け、リツマイモ掘り、田植え、いねうりなども PTA の方々の協力によって体験できるようにする。
・地域の人々とのかかわりをもつ
上級生との交流活動を基盤として、地域の人々とかかわりながら、人々との接し方を学べるようにするとともに、地域の方々の深い思いを感じ取ることができるようにする。
○評価の工夫
・自己評価の工夫
「評価カード」や「にこにここシール」などを活用して自分の活動を振り返ることにより、達成感や充実感が得られるようにするとともに自分に自信も持てるようにする。
・指導に生かす評価の工夫
「評価カード」「ありがとうカード」などを活用すると共に、児童の手元につけやき、行動を観察しながら、共感したり称賛したり、励ましたりして、児童の学習への関心や意欲を高め、積極的に学習に取り組めるようにする。

1 - 2
研究主題との関連研究の具体化を図るために、本活動における支援と評価のあり方について次のようにまとめた。

<table>
<thead>
<tr>
<th>観点</th>
<th>生活への関心・意欲・態度</th>
<th>活動や環境についての思考・表現</th>
<th>身近な環境や自分についての気づき</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>評価規準</td>
<td>・地域の人々に進んでかかわり、伝承遊びを楽しもうとしている。</td>
<td>・地域の人々とかかわりながら、昔の遊びを工夫してみんなで楽しむと共にそれを表現できる。</td>
<td>・地域の人々や友たちとかかわって遊ぶことを通して、昔の遊びの楽しさや季節の変化に気づいている。</td>
</tr>
<tr>
<td>具体的評価</td>
<td>・つぶやき 行</td>
<td>・発言 行</td>
<td>・発言 行</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・発言 行</td>
<td>・行動 行</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・絵や文 作</td>
<td>・活動カード 作</td>
<td>・対話 行</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・すごいねカード 作</td>
<td>・作品 作</td>
<td>・行動 行</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・ありがとうカード 作</td>
<td>・みつけたよカード 作</td>
<td>・すごいねカード 作</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td>・わかったよカード 作</td>
<td>・みつけたよカード 作</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 子どもの姿例 | ・地域の人や友達に進んでかかわり昔の遊びを楽しんでいる。 | ・楽しかったことを絵や文章に表すことができた。 | ・地域の人や友達と一緒に遊ぶことの楽しさに気付いている。
|  | ・昔の遊びに夢中になって遊んでいる。 | ・地域の人や友達といろいろな昔の遊びをしたり、遊び方を工夫したりすることができる。 | ・昔からの遊びのよさに気付いている。
|  | ・めあてカードに記入することにより自分の思いや願いをしっかりともつことができるようになる。 | ・自分たちの思いや願いをはっきりしないときは、児童の興味・関心を聞き出して支援する。 | ・自分のよさや友達のよさ、地域の人々のよさに気付いている。
| 受権の下 | ・子どもたちの思い出をくみ取り、共感したり育てたり広める。 | ・児童の思い出をくみ取り表現しやすいように支援する。 | ・話し方や聞き方などを前もって練習する場面を確保し、地域の人々と安心してかかれるようにする。
|  | ・めあてカードなどに表現されたものから児童の思いや願いをくみ取り表現しやすいように支援する。 | | ・友達のよさや自分のよさ、伝承遊びの楽しさなどに気付いた時は大いに称賛する。
|  | ・児童の興味・関心に基づいてグループ化する。 | | ・活動している姿から児童のよさを見取って、称賛して自分のよさに気付くことができるように支援する。 |

評価方法：発言分析 行動観察 作品分析 自己評価 相互評価
児童の意識の流れ

遊んで楽しむな

家でのぼく・わたしの遊び

折り紙・なわとび

S・Pゲーム

サッカー

三角ベース

スーパーカー

家でのおかあさんおとうさんの子どもの頃

まごと

ゴムだん・お玉玉・花いらないちんめんこ・おけじき・かくれんぼ

たこ揚げ

こま

けん玉

おじいちゃんおばあちゃんの頃はどんな遊び

ぴー玉

ちゃんばら・あやとり

竹うさ

できるようになったが

てんとう虫

わんこ・けん玉・おぐだま・竹馬名人

うまくできたよ・発表会をしよう

1 - 4
<table>
<thead>
<tr>
<th>小単元（時期・日時）</th>
<th>主な学習活動（時）</th>
<th>生活への関心・意識・態度</th>
<th>活動や体験についての考え・表現</th>
<th>身近な環境や自分についての考え方</th>
<th>支援の工夫</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①みんなで昔の遊びをしよう。（4）</td>
<td>・昔からの遊びで遊ぶ（1）</td>
<td>・地域の人々に進んでかかわり、伝承遊びを楽しもうとしている。</td>
<td>・地域の人々とかかわりながら、昔の遊びを工夫してみんなで楽しもうとしている。</td>
<td>・地域の人々や友達とかかわり、遊ぶことを通じて、昔の遊びの楽しげに気付いている。</td>
<td>・積極的支援</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・地域の人々に遊び方や遊びのこつを教えてもらって遊ぶ。（2）</td>
<td>・自分の好きな伝承遊びを連んで行っている。</td>
<td>・自分であつかってだこつや教えてももらったこつを友だちと教え合っている。</td>
<td>・伝承遊びにはいろいろなものがあることや、それぞれの遊びの楽しさ、面白さに気付いている。</td>
<td>・支援の工夫</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・自分が興味や関心をもって伝承遊びを楽しむ。（1）</td>
<td>・地域の人々や友達に進んでかかわり、いろいろな伝承遊びを楽しんでいる。</td>
<td>・工夫した遊びを伝えたり、教えたりしている。</td>
<td>・地域の人々が伝承遊びに挑戦し努力している自分のよさに気付いている。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>②作って遊びぼう、めざそう名人。（4）</td>
<td>・地域の人々や友達とかかわりながら遊ぶものを作り、自分に遊び方のこつを教えてもらったことから作りながら、伝承遊びの名を地域の人々に伝える。</td>
<td>・地域の人々に進んでかかわり、名を名指そうとしている。</td>
<td>・地域の人々にかかわりながら、昔の遊びを工夫して名を名指そうとしている。</td>
<td>・地域の人々に名を名指そうとしている。</td>
<td>・積極的支援</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・自分の遊びのことを作ったり、名を名指そうと作りながら遊びのことを楽しむ。</td>
<td>・身近な材料を使って、いろいろな昔の遊びのことを地域の人々に伝え、作りながら作る。</td>
<td>・いろいろな昔の遊びのことを地域の人々に工夫して作りながら作る。</td>
<td></td>
<td>・支援の工夫</td>
</tr>
</tbody>
</table>
できることは、遊んだりする。
(4) うとしている。
**発行**
- 自分から進んで地域の名人に遊び方のことを聞き、学ぶとしよう。
**発行**
- 技を高めながら遊んでいる。
**発行**
- それぞれの皆の遊びの技の高まりが、昔の遊びを楽しくすることに気づく。
**発行**
- 地域の人々に教えてもらうことのよさに気付く。
**発行**

(3) 発表会をしよう。
(3) 一生懸命作っても、繰り返し遊んだりして、紹介することができる。

| 発表会の計画を立てよう。 | 〇地域の人々に教えてもらった伝承遊びや技を進んで紹介しようとしている。
| 自分の作っておもちゃの遊びや練習した技を紹介する。 | 〇地域の人々に教えてもらった伝承遊びや技を工夫して発表しようとしている。
| 進んで発表会のアイディアを出してやる。 | 〇遊びや技を紹介する事を通して伝承遊びのよさや楽しがらに気付いている。
| 進んで遊びや技を紹介している。 | 〇伝承遊びや技を紹介する友だちのよさに気付いている。
| 友だちの発表を一生懸命聞くことができるようにする。 | 〇伝承遊びのよさや楽しがら、自分たちのよさに気付いている。

6 本時の学習指導（8/11）
(1) 本時の目標
身近な地域の人からいろいろな昔の遊びについて教えてもらい、楽しく作ったり、遊んだりする。
(2) 評価基準
- 地域の人や友だちに進んでかかわり、工夫して遊ぶものを作りたり遊んだりする。
  (関心・意欲・態度)
- 身近なもので昔からの遊ぶものを工夫して作ったり、楽しく遊んだりする。
  (思考・表現)
<table>
<thead>
<tr>
<th>児童の活動</th>
<th>指導上の留意点</th>
<th>支援</th>
<th>見取りの視点</th>
<th>時間</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1 本時のめあてを確認する。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>5分</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>工夫して作ったり遊んだりして、昔の遊び〇〇名になろう</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2 昔の遊び作り名人コースと技名人コースに分かれ、自分のめあてにそって活動をする。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>30分</td>
</tr>
<tr>
<td>わらでっぽう作りグループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>こま作りグループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>けんだま作りグループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>メンコ作りグループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>缶ばっくり作りグループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3 本時の活動を振り返る。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td>10分</td>
</tr>
<tr>
<td>(1) 名人と振り返る</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>(2) 気付いたり、思ったりしたことをカードにかき全体で振り返る</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1 - 7</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 児童の活動

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>指導上の留意点</th>
<th>支援</th>
<th>見取りの視点</th>
<th>時間</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>本時のめあてを知確認する。る</td>
<td></td>
<td></td>
<td>5分</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>昔の遊び作り名人コースと技名人人とコースに分かれ、自分めあてにそって活動をする。</td>
<td>地域の名人に挨拶をする。</td>
<td></td>
<td>30分</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ごま名人グループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>けん玉名人グループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>お手玉名人グループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>竹馬名人グループ</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>竹馬生の前に竹馬それにたァニStatementsがとる。</td>
<td>進んで地域の人に友だちにかかわり、名人になるこつを教えてもらうとしている。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>進んで地域の人や友だちとかかわっている児童には、賛辞の声掛けをする。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>なかなかかかわれない児童には地域の人や友だちの方へ声掛けをしてもらうこと、かかわりやすい場所で活動できるように働きかける。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>本時の活動を振り返る</td>
<td>初めに、活動グループ毎に名人と一緒に振り返りをする。</td>
<td></td>
<td>10分</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(1) 名人と振り返る</td>
<td>名人ととの振り返りから、ほかのグループの活動やよいにも気付くようにする。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ひものまき方</td>
<td>事前に、めあてに沿った活動ができたら振り返られるように、名人に依頼しておく。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>まとめのように</td>
<td>自己評価をする。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>(2) 気付いたこと、思ったりしたことをカードに書いて全体で振り返る</td>
<td>全体で振り返り、友だち活動のよさや、学びのよさに、気付くようにする。</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

1 - 8